

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可 ) ・ 否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	本元飯豊山参り(ほんもといいとよさんまいり)と修験道の伝統集落行事		
伝承地域	会津若松市大戸町		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで(いつまで)伝えられてきたか)</p> <p>古くは、東北地方修験の原形を残す大先達奥州会津南岳院の配下にある国峰・大戸雨屋三峰駆けの流れを汲むルートとして今に至っています。文化6年(1809年)の「新編会津風土記」(江戸時代)に記載がある。喜多方市山都町の飯豊山は妹で、本元飯豊山は姉と言う伝説もある。飯豊山の登り口には、オンバ様が祀られている。聖界と俗界の境で、古くは女人禁制であった。明治6年に女人禁制は解禁となったが、葬式等を出した家族の登拝を禁ずるなどの禁忌は現在も堅く守られている。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>「本元飯豊山参り(ほんもといいとよさんまいり)」は会津若松市大戸町闇川・入屋地区に古くから伝わる登拝行事である。五穀豊穰と山仕事の安全を願い、毎年、9月第2日曜日に遥拝登山を行っている。登拝前日に夜籠りをして潔斎精進し、祝詞唱文など準備の品を確認する。翌朝、高畑山中腹(地元では飯豊山と呼んでいる)にある本殿を目指し登拝する。登拝者の先達が遥拝路の12箇所注連縄を張り、登拝者はこれをくぐり登拝する。岩場の本殿前で登拝者全員が祝詞を詠唱する。本元飯豊山参りは、喜多方市山都町にある飯豊山(いでさん)信仰の源流に当たるとも言われている。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先			

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	_____	※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢	男 ・ 女 _____ 歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 _____ 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話 _____	
	職 業	_____	

団	団体名（ふりがな）	入小屋地区本元飯豊山参り保存会	
	代表者氏名（ふりがな）	穴澤豊廣 氏（平成 25 年度代表）	
体	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日
	問い合わせ先	入小屋地区本元飯豊山参り保存会	電話 0242-92-3426

フリーフォーマット】

キーワード



<祭壇>

祭壇は、地区内15世帯が廻り宿での当番となっている。



<参道入口>

参道の途中には、急な斜面や岩場もあり、途中の休憩を入れ、約3時間かけて本殿に辿り着く。



<本殿>

本殿は大きな岩場の前に建てられており、本殿から3m程先は、崖となっている。

(平成 25 年 9 月)